



謹んで新春のお慶びを申し上げます



もくじ

1. 行事スケジュール
2. お役立ちなんでも情報
3. 紹介コーナー
4. 益田市認定農業者連絡協議会からのお知らせ
◇◇雑談コラム◇◇

1. 行事スケジュール

月 日	イベント名	会場・時間
1月17日	石西地域 施設園芸 担い手研修会	場所：市民学習センター 時間：13:30～
1月24日	普及活動・試験研究 成果発表会	場所：ビッグハート出雲 時間：10:30～
1月25日	農業経営指標 活用研修会	場所：西部高等技術校 時間：13:00～
2月 2日	益田市認定農業者連 絡協議会主催講演会	場所：益田市役所 時間：16:00～

2. お役立ちなんでも情報 ～各地イベント・情報提供～

経営の自己チェックしてみませんか？～経営分析のための「農業経営指標」活用研修会～

認定農業者が作成する農業経営改善計画書や決算書には、経営に役立つ情報がたくさん含まれています。これらを自己チェックし、分析することで、経営で「うまくいったところ」「反省すべきところ」が見つかります。また、全国の農業者など他社の経営と比較することで、自らの経営の「強み＝伸ばしていくべきところ」「弱み＝改善していくところ」もわかります。

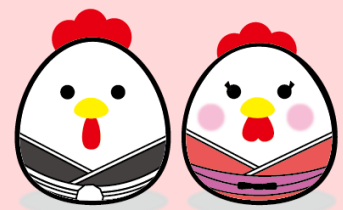
こうした自己チェックや自己分析が、だれでもできるように、農林水産省では「農業経営指標」（経営の自己チェックができるパソコン活用システム）を作成しています。

この「農業経営指標」の内容や使い方について、研修会を実施いたします。ぜひご参加いただき、今後の農業経営にご活用ください。

日 時：平成29年1月25日（水）13:00～17:00

会 場：島根県立西部高等技術校（益田市高津4丁目7-10）

準備いただくもの：農業経営改善計画書、筆記用具
直近の税務申告書、電卓



青色申告をはじめませんか

～青色申告を行っている農業者を対象とした「収入保険制度」の導入決定！！～

政府の農林水産業・地域活力創造本部において、青色申告を行っている農業者を対象とした「収入保険制度」の導入が決定されました。青色申告は、自分の経営を客観的につかむための重要なツールです。

「正規の簿記」の場合は65万円、「簡易な方式」の場合は10万円の青色申告特別控除を受けられるなど、税制上のメリットもありますので、早速取組んでみてはいかがでしょうか。

なお、新たに青色申告を始める農業者の方は、平成29年3月15日までに税務署に「青色申告承認申請書」を提出する必要があります。

収入保険制度に関する「農業競争力強化プログラム」の取りまとめの概要

政府の農林水産業・地域の活力創造本部において、青色申告を行っている農業者を対象とした収入保険制度の導入が決定されました。

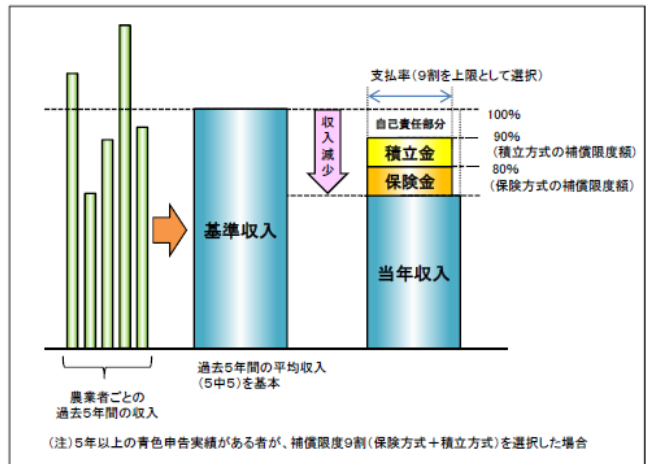
<収入保険制度の具体的な仕組み>

収入保険制度は、品目の枠にとらわれず、自然災害による収量減少だけでなく、価格低下なども含めた収入減少を補填する仕組みです。主な内容は、次のとおりです。

- 青色申告を行っている農業者（個人・法人）が対象です。
※ 5年以上の青色申告実績がある者が基本ですが、青色申告（簡易な方式を含む）の実績が1年分あれば加入できます。
- 当年の収入が基準収入の9割（5年以上の青色申告実績がある場合）を下回った場合に、下回った額の9割（支払率）を補填します。
※ 基準収入は、農業者ごとの過去5年間の農産物の販売収入の平均（5中5）を基本とし、規模拡大など当年の営農計画等も考慮して設定します。
※ 補償限度額及び支払率は複数の割合から選択できます。
※ 「掛捨ての保険方式」に「掛捨てとまらない積立方式」も組み合わせるかどうかは選択できます。
- 農業者は、保険料・積立金を支払って加入します。（任意加入）
※ 保険料は掛捨てになります。保険料率は、今後変更があり得ますが、現時点の試算（補償限度8割）では1%（50%の国庫補助後）です。
※ 積立金は自分のお金であり、補填に使われない限り、翌年に持ち越されます。75%の国庫補助があります。

※ 収入保険制度と農業共済やナラシ対策などの類似制度については、どちらかを選択して加入することになります。

<収入保険制度の補填方式>



基準収入が1,000万円の農業者が、補償限度9割(8割が保険方式+1割が積立方式)、支払率9割を選択した場合の試算

農業者が用意すべきお金

保険料は、7.2万円
積立金は、22.5万円
合計 29.7万円

補填金額

収入減少の程度 (当年収入)	補填金の合計	補填金		補填金を含めた 当年収入 (対基準収入)
		保険金	積立金	
30%(700万円)	180万円	90万円	90万円	880万円(88%)
50%(500万円)	360万円	270万円	90万円	860万円(86%)
100%(0万円)	810万円	720万円	90万円	810万円(81%)

収入保険制度の導入に関する詳しい情報は、農林水産省 HP で公開しています。

→http://www.maff.go.jp/j/keiei/hoken/saigai_hosyo/syu_nosai/index.html

【お問い合わせ先】

中国四国農政局島根県拠点 地方参事ホットライン TEL0852-24-7311

西いわみいちご部会の新品種「おいCベリー」栽培の取組について

西いわみいちご部会では主に美都町で約1.6haのいちごを栽培し、県内市場や産直市に出荷しています。美都町のいちご栽培の特徴は、棚をつくり、その上にロックウールなどの培地を並べたベンチ栽培です。

春からは観光農園も併設して販売され、作期の分散と多様なニーズに対応するため、多くの品種を栽培しています。中心の品種は「紅ほっぺ」、ついで「章姫」、「かおりの」、「さちのか」、「とよのか」と続きます。昨年度から更においしさと特徴を求め、新品種「おいCベリー」が試験的に導入されています。

おいCベリーは独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構が開発育成し、平成22年登録出願、平成24年に品種登録されたばかりの新しい品種です。

果実は、ビタミンCが市販品種の中で最も多い「さちのか」の約1.3倍、「とよのか」の約1.6倍含まれ、さらに高い抗酸化活性を有しています。また、果実は「とよのか」より大きく、濃赤色で光沢があり、糖度が高く、食味も良好で、日持ち性も優れています。

収量は「とよのか」並と多くなりませんが、商品果率が高い品種です。うどんこ病には中程度の抵抗性を持ちますが、萎黄病および炭疽病に対する抵抗性はないので病気への注意が必要です。

表面の色は「紅ほっぺ」や「章姫」などよりも濃く色付いています。ただ、果肉の色は、やや白っぽく感じます。

食感は、果肉に歯触りがあり、それでいて固すぎると言う訳ではなく、まず甘さが広がり、それを支えるバランスの良い酸味が後に続き、「しっかりとした食感」といえます。

上記のような取組に合わせ、同組合では平成29年度からリース制度を使ったハウス面積の拡大による産地の強化を目指しています。



収穫最盛期の「おいCベリー」

島根ぶどう共販60周年記念生産者大会

10月28日、出雲市の大社文化プレイスうらら館において島根ぶどう共販60周年の節目を記念して生産者大会が開催され、この60年間の経過の振り返りや「島根ぶどう中期ビジョン」の発表、農業技術センターからの各種研究成果の発表や、今後の島根ぶどう産地の維持・発展に向けた取組み等を議論するパネルディスカッションなどが行われました。

パネルディスカッションの中で、市場関係者から単価維持のためには産地規模（＝出荷量）の維持が必要不可欠とのコメントがあり、島根ぶどうに対する需要と期待は根強いものがあることを感じました。

また、この大会の中で、島根ぶどう共販60周年記念表彰などが行われ、益田市の生産者も受賞されました。おめでとうございます！

◆受賞者一覧（益田市からの受賞者のみ氏名・名称記載）

○島根ぶどう共販 60 周年記念受賞者

【功労者（県内 11 名）】

大石静夫さん、能地明友さん

【生産部会・組合（県内 4 組織）】

JA しまね西いわみぶどう部会

○第 31 回島根ぶどう園コンクール（県内 9 名）

大石静夫さん（島根県果樹研究同志会長賞）

○平成 28 年島根シャインマスカット品評会

【1 房化粧箱の部（県内 4 名）】

竹内直実さん（島根県果樹研究同志会長賞）



益田・鹿足地域 新規就農者産地バスツアー研修を開催しました！

11月9日に益田・鹿足地域の新規就農者や農業研修生を対象に産地バスツアー研修が開催され、15名が参加しました。当日は、関係機関とともに農業士等のほ場を視察し、参加者の資質向上や交流を深めるイベントとなりました。

研修では、飯田地区で主にメロンを栽培されている狩野幸登さん、（有）アグリみとのほ場を視察し、これまでの経緯や苦労話、アドバイス等をお話いただきました。

（有）赤雁の里では、渡邊育子さんより農業を通じた地域活性化や食農教育・農業体験の受入等の活動の取り組みについてお話を伺いました。また、敷地内のレストランにて地物野菜のみを使用しすべて手作りという自慢のお弁当を堪能させてもらったあと、参加者の皆さん同士が自己紹介や将来展望を話しあい終始和やかな雰囲気の中で交流を深めることができました。

今回は3か所の農場でお話を伺いましたが、どの会場でも活発な質疑応答がされ、参加者の皆さんは先輩農家から貴重な意見や多くの助言を得ることができ、とても有意義な研修会となりました。



施設野菜のハウスの視察



農家レストランでの講話

3. 紹介コーナー

いきいきファーマーズ ～新規就農者紹介⑥～

名 前	堀江 啓太
営 農 類 型	水稻+茶
年 齢	32歳
主な営農場所	北仙道
趣味は？	ヘヴィメタル。歴史、民俗、宗教学。
益田で農業を始めたきっかけは？	Uターン後、親類の農業を手伝い、 農作業に魅力を感じたから。 また、研修先農家の人柄に触れて。
将来の夢は？	法人化。地域の特性等を活かした町おこし。

意気込みを一言！
ぼちぼちやります。



4. 益田市認定農業者連絡協議会からのお知らせ

認定農業者連絡協議会主催 講演会を開催します！

をテーマに、下記のとおり講演会を開催します。講師は、株式会社キヌヤの代表取締役社長 領家康元氏です。ぜひ奮ってご参加ください。

日 時 平成29年2月2日(木) 16:00～ (受付: 15:30～)

場 所 益田市役所 3階 大会議室

内 容 演題「キヌヤローカルブランドを通じて地域の活性化を目指す」

講 師 株式会社キヌヤ 代表取締役社長 領家 康元 氏



第19回全国農業担い手サミット in ぎふに行ってきました！

と き：平成28年11月10日（木）～11日（金）

ところ：全体会～岐阜メモリアルセンター 現地研修会～宮崎県内10地域33コース

「第19回全国農業担い手サミット in ぎふ」が、“広げよう！つなげよう！未来の農業へ”のテーマの下、盛大に開催されました。皇太子同妃両殿下を迎えて行われた全体会では、全国から過去最多の2,600人以上の認定農業者、集落営農組織関係者、関係機関の方々が参加されました。

○全体会○

全体会では、優良経営体表彰・農林水産大臣賞表彰式（個人・法人・集落営農組織）が行われました。その後の「担い手メッセージ」では、優良経営体表彰・農林水産大臣賞受賞の3名と地元農業高校の学生による発表が行われました。第2部のパネルトークでは、県内でご活躍中の先輩農業者、女性農業者、若手農業者が登壇し、農業の魅力や取組みについて、活発な意見が出されました。

○現地研修会○

現地研修会では、岐阜県内10地域33コースに分かれ、地域の特色ある農業や取組みが紹介されました。益田市からの10名の参加者は4つのチームに分かれて視察しました。

岐阜地域「豊かな土地が育むにんじん産地と長良川の鮎コース」では、にんじん2期作産地の取組みや、研修施設を経て就農したイチゴ生産者の取組みを視察しました。

可茂地域「清流の恵みを活かした地域づくりと有機の里コース」では、環境に負担をかけない農業を通じた都市部との交流・移住の取組みや、水田作業受託や特産品販売など、地域全体で稼ぎ地域を支える全村的取組みを紹介していただきました。

恵那地域「日本一の農村景観を訪ねるグリーン・ツーリズムコース」では、岩村城跡に連なる山並みを背景に広がる日本一の農村景観を活用したグリーン・ツーリズムの取組みを視察しました。

飛騨地域「果樹と山の恵み堪能コース」では、飛騨リンゴの産地と加工施設、ジビエの取組みや解体処理施設について紹介していただきました。



今回は、サミットに初めて参加された2名の方に、全国農業担い手サミット in ぎふに参加されての所感や、全国の農業者さんとの出会い交流をもったことで感じたこと等について、記事をご提供いただきました。

農事組合法人とよた農産 齋藤 雅典さん

教職を定年退職してこの4月から「とよた農産」（農事組合法人）を手伝い始めたばかりの私ですが、『第19回全国農業担い手サミット in ぎふ』に参加させていただいたことで、多くのことを学ぶことができました。

全体会の『担い手応援メッセージ』が強く印象に残っています。スクリーンに映し出される四季折々の映像と紺野美沙子さんの語りのもと、白川村平瀬民謡保存会、揖斐川町谷汲踊保存会、長良川鉄道株式会社の方達、そして、岐阜揖斐川町立たにぐみ幼稚園、多治見少年少女合唱団、県立恵那農業高等学校の子ども達が、伝統芸能を演じ唄って、農業の営みや豊作への祈り、感謝の気持ちを表現してくれました。クライマックスでは就農応援隊（岐阜では10地域で自治会、商工会、関係団体等を構成員とする『岐阜就農応援隊』を結成しています）の隊長も加わり、全員で『次の世代へ～明日の農業づくり宣言～』をアピールしました。以前は田植えや稲刈りは一家総出の行事でした。私も子どもの頃の田んぼの情景を思い浮かべました。感動し目頭が熱くなった観客は、おそらく私だけではなかったでしょう。農作は日本の大切な文化なのだという思いを、会場全体が共有したように感じました。

パネルトーク『女性が支える未来の農業』も楽しいものでした。農業に取り組む夫をもつ20～40代らしき5人の女性の語りを聞きました。もちろん、いいことばかりの毎日ではないのが現実です。しかし、彼女たちは生き生きとして見えました。そういう若い人の姿に大いに元気づけられました。

また、たくさんの農業高校の生徒達が、受付、案内、実習作品展示などの役割を担ってサミットに参加していたことも報告しなければなりません。将来この子達の何人かは実際に就農するだろうと思わせる、農業の大切さを理解している様子的高校生達でした。

現地研修会では、『豊かな土地が育むにんじん産地と長良川の鮎コース』（岐阜地域交流会）に参加しました。各務原市のにんじん産地、Uターン就農者のいちごハウス、岐阜県水産試験場を見学しました。私が施設や機械に目を奪われていると、一緒に参加した「とよた農産」代表理事に「ここは近くに名古屋という大消費地があるからね」と言葉をかけられました。経営的視点への気づきでした。

最後に懇親会のこと書かなければいけません。情報交換会で同じテーブルに着いた他県の方と一緒に益田市から参加した方の多くは、大金を投資するリスクを負いながら農業経営に取り組む事業主でした。そうした方達と直接言葉を交わす機会を得たことも大きな収穫です。

今思うと、サミットに参加したことで農業を見る目が変わったようです。このような機会をいただいたことに心から感謝いたします。



二条地区農業委員 谷本 大輔さん

アメリカ大統領選でトランプ氏が勝利！

そんな一報で世界が揺れる中、「全国農業担い手サミット in ぎふ」は行われました。岐阜行きのバスの中、益田市認定農業者連絡協議会の田中会長が「トランプ氏当選の報にいささか混乱気味・・・」とあいさつの中で語ったのが印象的でした。

益田市の一行を乗せたバスは岐阜市に到着。岐阜メモリアルセンターで全体会が行われました。全体会では、雅子皇太子妃を伴いご来場された皇太子殿下の御前で、岐阜県内の高校生や子供達による歓迎アトラクションや、岐阜県で農業を営む若い担い手による



パネルトークなどが行われました。全体会の後、益田市の一行はそれぞれのコースに分かれました。私は日本一の農村景観を訪ねるグリーン・ツーリズムコースということで、恵那地方へ向かいました。宿泊した恵那峡グランドホテルで行われた情報交換会では、郷土料理のへぼ（クロスズメバチの佃煮）を食べ、美味しい地酒に酔いました。翌日は恵那地方のいろいろな農業スポットを見学し、昼食は日本一の農村景観が広がる岩村町富田にある茅葺きの古民家で食べました。ここで食べた郷土料理の五平餅は絶品でした。その日の夜は再び岐阜市に戻り、益田市の一行と合流。岐阜の美味しいもんで最後の夜に乾杯しました。

今回のサミットには、農業委員として参加させていただいたのですが、大変有意義であったと思います。飲み食いしたことばかり書いてしまいましたが、サミットを通して担い手確保という現実の問題に正面から取り組む岐阜県の姿勢が見られ、良い刺激になりました。また、長い道中益田市の農業担い手の方々いろいろな話を



をできたことはなによりの成果です。

この記事を書いている時点で、サミットからもう1月半が立ちました。トランプ次期大統領のニュースは今も世間を騒がせていますが、なにか現実味のないゲームを見ているように思えます。実際に人が食べるものを作っている我々農業者としては、あまり情勢の変化に惑わされないようにしたいものです。サミットへの参加は、そんな想いを再確認させてくれるものでした。

第20回全国農業担い手サミットは、高知県で開催されます。多くの方の参加をお待ちしております。

◇◇雑談コラム◇◇

新年明けましておめでとうございます。

今年の元日はかねてから参加しようと思っていた「大道山初日遙拝登山」に家族揃って行ってきました。朝6時から登山開始。真っ暗な中を黙々と歩き（3歳の息子はほとんど抱っこでした・・・）、7時前に登頂。頂上では地元中垣内地区のみなさんが準備してくれた豚汁やおしるこをごちそうになりました。今年は天候に恵まれ、7時半頃に見事なご来光を拝むことができました。また益田での素敵な思い出が増えました。

みなさんはどのようなお正月を過ごされましたか？今年もみなさんにとって良い年でありますように・・・
(H. K)